

本年2月デビュー「Lee Workwear」についての記事が「繊維ニュース」に掲載されました！

2016年(平成28年) 1月15日 「繊維ニュース」掲載記事

ボンマックス「25年ぶりワーキング再参入」 「リー」ユニフォーム発売



「リー ワークウェア」で再挑



ユニフォームメーカーのボンマックス(東京都中央区)は2月、ジーンズブランド「Lee(リー)」のワーキングウェアを発売する。

リー・ジャパン(同荒川区)とのコラボレーションによる企画で、ボンマックスとしては約25年ぶりにワーキング分野に再参入する形となる。カタログ名は「リーワークウェア」。代理店による販売のほかワークショップでの小売りも行い、女性ワーカーもターゲットとする。初年度の売り上げ目標は2億円。対象業種は建設業・農業などのほかカフェなど外食系サービス。アイテムはブルゾン(1万1,500円)、パンツ(9,800円)、シャツ(7,900円)、ツナギ、エプロン、シャツ、アクセサリーなど29型。

ボンマックスは前身の外川商店(1948年設立)時代から作業服の服地を扱っており、1967年には作業服製造工場として東北縫製(岩手県陸前高田市)を設立。80年代にオフィス分野に参入し以降はオフィス、サービス、イベントウェアが主力商品となった。2015年に再生、復活を意味する「リボーン」を通年のテーマとして商品企画を検討し、ワーキング分野への再参入を決めたという。

リー・ジャパンはジーンズ、カジュアルウェアのほかデニムを基調としたユニフォームを展開しており、農作業のほかカフェ、居酒屋などで採用実績がある。

リーワークウェアの商品はリー・ジャパンがデザイン、ボンマックスがユニフォームに必要な機能を加える形態。素材は日本製でストレッチ機能がついた本格デニムが中心となる。生産はベトナムのリーの認証工場で行う。米国で撮影したイメージ写真はジーンズの新作コレクションを思わせる仕上がり。ボンマックスは「業界に今まで無いようなおしゃれな作業服を検討していたところ、今回の出会いがあった。リー・ブランドの世界観を前面に押し出し、ワーキング分野に新しい風を起こしたい」としている。

2月5日に品川ザ・グランドホール(同港区)で行う展示会でお披露目する。午前10時、11時半、午前1時、2時半、4時に発表会を予定している。